

令和7年度 自己評価・学校関係者評価

学校法人亀井啓進会 府中白百合第二幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・年齢に応じた知的、身体的発達を十分に遂げるよう促進する。
- ・自主性を育て、明るく積極的な性格を培う。
- ・友達との関わり合いの中から、主張すること、譲ること、思いやる気持ちを育てる。
- ・読書力をつけ、本の大好きな子になるよう導く。
- ・人の話を集中して聴いたり、ある活動に没頭出来るような落ち着きと集中力を養う。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・ひとり一人に寄り添い、見とりの力を付け、幼児理解を深める。
- ・職員間で幼稚園の保育理念を共有し、保育活動及び教育内容の充実を図り、少子化の中、多くの保護者に選んで頂ける園となるよう、基本を忘れず、日々を大切に保育する。
- ・母の会活動のあり方を保護者の意見や希望と幼稚園の考え方を擦り合わせ、より良い方向へと模索する。
- ・満3歳組の入園時期を再検討し、保育園から幼稚園を選ばれた保護者の方の期待に応えるべく、更なる2歳児保育の充実をはかる。
- ・預かり保育の日数・時間の拡大等、様々な方面から、子育て支援の充実を図る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

<評価> A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった

| | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|---|---|----|--|
| 1 | ひとり一人に寄り添い、見とりの力を付け、幼児理解を深める | A | ◎様々な子どもへの対応や理解を深めるため、発達支援センターから毎年専門講師の派遣を依頼し、直接担任が子ども達と接する様子を見てもらい、アドバイスや助言を受ける事で担任としての関わり方の方向性が見え、子ども達のより良い成長に結びつけることが出来た。保護者の希望があれば、様々な療育機関から幼稚園への訪問支援の受け入れにも門戸を開き、様々な子ども達の一人一人の発達に結びつけることが出来、担任の専門的なスキルアップにも繋がった。保護者の方にも幼稚園での様子が様々な方向から報告される機会が増え、保護者の心の安定にも繋がっていると考える。 ◎園全体で一人一人の子どもの成長・発達を見守り・育てる環境作りに留意しカリキュラム会議の際、意見を出し合う等、見とる力を付け、より深い幼児理解につながっている。 |
| 2 | 職員間で幼稚園の保育理念を共有し、保育活動及び教育内容の充実を図り、保護者の方に、選ばれる園になる様、基本 | A | ◎職員会議や行事後の反省会等で、幼稚園の保育理念を常に共有し、日々の研鑽と職員間の学び合いを大切にすることを心掛けた。 ◎外部講師による職員研修会を定期的で開催した。(年3回) ◎英語を保育に取り入れ3年目になるが、年数を重ねる毎に子ども達の英語に対する意識が高まっていることを感じる。朝の会や天候などの簡単なフレーズをみんなで覚え、英語で挨拶などするクラスもある。英語の時間だけでなく、普段の保育の中でも英語の本や歌が身近に子ども達の手にとったり、 |

| | | | |
|---|---|---|--|
| | <p>を忘れず、日々を大切に保育する。</p> | | <p>聞いたり出来る環境を作り、子ども達自ら音楽に合わせて歌ったり、英語の絵本を見たり、異文化に興味や関心を持つ機会になる様、英語教育を保育の中に積極的に入れている。</p> <p>◎保育日数や保育時間を増やす事で、日々の保育内容を充実させてきたが、それにより子ども達の活動がより豊かになった。又、幼稚園生活をゆったり、余裕を持って過ごすリズムが出来てきた。</p> <p>◎保育の充実に加え、教育重視で保育園からの転入園児が増えていくことを考慮し、預かり保育の日数や時間の見直しを進めた。</p> |
| 3 | <p>母の会の活動のあり方を、保護者の意見や希望と幼稚園の考え方を擦り合わせてより良い方向へと模索する。</p> | B | <p>◎母の会のより良い運営方法を母の会役員と協議していく予定であったが、年度がスタートしてしまうと初めての役員経験の方も多く、意見の調整など時間的にも難しい場面が多かった。</p> <p>◎年度末に母の会役員に母の会の運営や幼稚園に対する要望などのアンケートをとって頂いたので、来年度の母の会運営に際して参考にし、新たにスタートしていきたい。</p> <p>◎本来母の会は、保護者と保護者を代表する役員の総意で運営していく組織ではあるが、様々な事案に対して、事前に保護者全体に幼稚園としての姿勢を明確に伝えていく必要性を多く感じた。特に役員選出に関しては、何を大切にすべきか再検討が必要であると考えた。</p> <p>◎母の会の運営も良い意味での簡略化により、更にスムーズになり、保護者の意識も高まりつつある反面、逆にみんなで集まる機会が減り、コミュニケーションが取りにくい事などによる弊害も出て来ている。</p> <p>◎母の会総会をネット上で開催したり、PDFでメールを配信するなど、ペーパーレス化を図り、役員会の回数、仕事量を軽減する運営方法が定着してきたが、逆にメール量などが増え、それが負担になるという声もある。</p> <p>◎母の会主導で給食に関するアンケートを全保護者に向けて作成し、集計をまとめ、幼稚園や給食提供業者に提示してくれた。大変な作業であったと思うが、保護者の代表である役員としての前向きな姿勢が感じられた。</p> <p>◎役員の方に、保護者の代表としてクリスマス会などの行事に参加して頂き、子どもと一緒に行事を楽しんで頂く機会を設けた。</p> <p>◎役員の方には、クラスのお母様方のまとめ役、連絡役をお任せし、子ども達が楽しい幼稚園生活を送る為の様々な企画・運営を保護者の立場から行って頂いた。</p> |
| 4 | <p>満3歳組の入園時期を検討するにあたり、2歳児保育のあり方や保育内容の充実を図る。預かり保育の日数・時間の拡大等、様々な方面から、子育て支援の充実を図る。</p> | A | <p>◎満3歳組という4年保育の保育は大分確立してきたが、更に多くの子ども達に幼稚園への入園を検討して頂ける様、来年度に向けて入園時期の検討も含め、今一度、2歳児保育も視野に入れた満3歳児保育について話し合いを進めてきた。</p> <p>◎入園前の2歳児の1年間、それぞれに有意義な時間となる様、月2回の未就園児親子教室「ぺんぎん」、月1回土曜日開催の未就園児親子体操教室「らっこ」を開室に加え、多様な他者との関わり機会の創設事業に参加し、2歳児預かり保育『おひさまくみ』を開設し、子育て相談や入園準備の質問に対応し、安心して園生活がスタート出来る様サポートした。</p> <p>◎「らっこ」開催日には、入園前の幅広いお子様対象に園庭開放を行い、遊びに来て頂く事によって、幼稚園が地域に開かれ、親しみの持てる場所になる様、心掛けた。</p> <p>◎共働き家庭が増え、預かり保育の重要性が高まってきている。よりみんなが通いやすく、子ども達にも充実した預かり保育の時間が提供できるよう、行事日の預かり保育のやり方なども含め、様々な意見を出し合っている。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>◎預かり保育に関しては、教務主任が預かり保育の全体を見る役目も兼務し預かり職員も正職のベテランが担当することが多く、共働き家庭の方だけでなく、預かり保育の時間は好きで、希望する子ども達も多い。</p> <p>◎令和8年度より入園式、卒業式等行事日の預かり保育日を追加し、より多くの方に利用し通いやすい幼稚園に出来るよう計画を進めている。</p> |
|--|--|---|

4. 総合的な評価結果

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | <p>少子化も進んで行く時代の中で、保護者のニーズに寄り添いながらも、中心は常に”子ども”に置きながら、基本的な事を見失わずに、職員間で時間をかけて話し合いを重ねてきた。改善点を修正したり努力した1年でありながら、更に多くの方がより通いやすい園となるよう新しい事にチャレンジする準備も進めた1年でもあった。</p> <p>『共に育つ』という信念から、様々な特徴も持つ子ども達の心の理解に専門の先生のアドビスを受けたり、日々接していくなかで教師が試行錯誤をしながら、正面から子ども達と関わることで一人一人の子ども達の心や特徴を見取る力をつけていっている。</p> <p>保育内に導入した英語レッスンも3年目で子ども達の生活のリズムの中に溶け込み始めた。月1回の英語レッスンの日を楽しみに待つ様子が見られたり、クラスによっては朝の会や天気の発表など簡単な英語のフレーズをみんなで覚え、朝の会に導入しているクラスもある。外国人講師にも、覚えた英語で話しかけたり、講師と会話を交わす子どもも増えてきており、英語が身近に感じられる。</p> <p>満3歳組は身体を動かす活動、手先をつかう活動を中心に保育内容を組み立てていくという満3歳組保育の方向性を確立させつつある。今後は満3歳になる前の2歳児からの入園を希望する保護者のニーズにも応え、入園時期の変更も視野に入れながら、保育園の2歳児クラスとは異なる幼稚園の4年保育クラスとしての満3歳組を定着させていきたい。</p> <p>幼稚園での活動の様子をタイムリーに紹介したり、未就園の保護者の方に、幼稚園選びの参考になる情報を広く開示する為に、インスタグラムを開設しているが、今後更に、在園の保護者の方にも楽しみに見て頂いたり、未就園の保護者の皆様に幼稚園を紹介し、本園を選んで頂ける手立てとなるようアップ回数や内容を検討していきたい。</p> <p>母の会のあり方・運営などに関しては、時代の流れや年度による柔軟性が求められる時代となっている。幼稚園としても、方向性を共に考えていきたい。</p> <p>選ばれる園になるべく、まだまだ努力の余地はある。職員みんなで知恵を出し合い、今後も努力していくという共通意識を持つことが出来た。</p> |

5. 今後取り組む課題

| | 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|---|--|--|
| 1 | <p>教員間でインクルーシブ教育に理解を深めると共に、保育活動・教育内容の充実を図る。</p> | <p>多様な子ども達の存在を前提に、一人ひとりに寄り添い、配慮を行いながら『共に育つ』という観点からクラス運営を行う取り組み方を職員間で模索し、理解を深める。</p> <p>教育内容の質の高さを保つため、日々の研鑽と職員間の学び合いを大切にすると共に、他の療育機関の助言等も柔軟に取り入れていく。</p> <p>年に2～3回、職員が学びたいテーマで外部の講師を招き、職員研修を行っているが、更に職員間の主体的な話し合いや子ども達が楽しく取り組む事で幼児期に必要な子ども達の心や身体の発達に繋がるような活動を保育の中に多く取り入れていく。</p> |
| 2 | <p>満3歳組の入園時期・方法を検討する。 幼稚園として行える2歳児保育を職員みんなで勉強していく。</p> | <p>共働き家庭にも選んでいただける満3歳組の入園時期を2期制にする等入園方法を検討しながら、幼稚園の4年保育としての位置付けがしっかり出来るよう、保育内容や行事への参加の仕方等検討を重ね、より良い満3歳組を確立していく。</p> <p>未就園児親子教室「ぺんぎん」、未就園児親子体操教室「らっこ」も保育内容を高め、各家庭の状況に合った3歳児入園に向けた一年が過ぎせるように支援する。</p> <p>二歳未満の子ども達向けに無料の英語遊びの教室、園庭開放の開催やイベント等の数を増やし、地域の方やお子様のいるご家庭に幅広くお知らせし、楽しく親子で参加して頂く事で幼稚園に対し、より理解を深めて頂く努力をする。</p> |
| 3 | <p>預かり保育の内容を充実</p> | <p>共働き世帯を含む様々な家庭のニーズに応えられるよう、預かり保育の内容や仕組みを更に充実させる。令和8年度より保護者の負担を減らすため、預かり料金の『月額定額プラン』の導入や入園式・卒業式など行事日も預かり保育を実施する予定である。</p> <p>夏休み預かり時の暑さ対策、預かり中の病気や怪我の対応など、様々なケースについて確認・共有し、子ども達を安全に預かることが出来るような設備や体制作りを更に強化して行う。</p> |
| 4 | <p>英語教育の充実を進める</p> | <p>3年目になる保育内の英語レッスンを充実の為、研修会を設けた。英語講師にアドバイスを頂きながら、子ども達の取り組み方の様子を見、内容を充実させていく。</p> <p>保育内で体験した英語を普段の保育の中にも生かす遊びや活動を模索し、さらに子ども達が主体性を持って英語に取り組めるように導く。</p> |

| | | |
|---|----------------------|---|
| 5 | 子ども達が主体的に行う体育活動を模索する | 広い園庭を生かした「走る」を基本にした体育活動だが、体操指導教諭の指導を生かしながら、自由遊びの中などでも子ども達が主体的に話し合いをしたりルールを決めたり出来る環境を設定する。 |
| 6 | 幼稚園業務の IT 化を進める | 令和 7 年度に引き続き、幼稚園業務の効率化、保護者の利便性を図るため、幼稚園のネット環境を整え、出来るところから IT 化を進めていく。保護者に希望の多い、出欠席・預かり保育管理のアプリの導入を令和 8 年度目指して準備を進めていく。幅広くホームページを活用して頂ける様、ホームページの見直し、インスタグラムの効果的な運用を考えていく。 |
| 7 | 給食選択制を導入する | 保育園からの転入されて来る方や長期休みの預かりを希望する方に希望の多い給食制を令和 8 年度 6 月から導入する予定で準備を進めている。 |

6. 学校関係者評価

(1) 幼児理解を深める

- ・様々な性格や特徴を持つ子ども達にひとり一人と丁寧に向き合うことが幼児理解を深めることにつながっていると感じた。
- ・チーム保育が徹底されており、担任の先生以外でも子ども達の様子が共有されているのが保護者として安心できる。
- ・子育ての中ではどの保護者も何かしらの不安はあると思うので、保護者も安心し、安定して子どもと向き合うことが出来るような体制を幼稚園が提案していくことは、子供の発達・成長につながると思う。

(2) 保育活動及び教育内容の充実を図り、保護者の方に選ばれる幼稚園になるよう努力する。

- ・家でも覚えた英語を口にすることが増え、保育に英語の時間を取り入れて頂いた効果を感じる。毎年でなくても良いので 英語の時間の参観が出来ると嬉しい。
- ・保育日数、保育時間の見直しにより保育日数や保育時間が増えたことは、保育内容が充実されると共に、仕事を持つ母親にとっても、家庭と仕事の両立がしやすい環境となり大変良かった。
- ・令和 8 年度より府中市の 2 号認定の方の預かり保育料補助金が 4 5 0 円から 9 0 0 円になること、加えて預かり保育料の定額プランなどの導入で、家庭の負担が減り、利用しやすくなる。保護者の幼稚園選びに良い印象を与える。
- ・共働き家庭は平日にお稽古をさせることが難しいことが多く、保育時間後に様々な課外活動が設けられていることは大変ありがたく、利用者も大変多いと感じる。
- ・昨今の幼稚園のデジタル化に追従すべく、キャッシュレス化することで幼稚園で保管する現金が減り防犯面で良い。銀行への入金や現金確認作業が減り、職員の負担も減る。保護者の幼稚園選びにも、好印象を与える。
- ・日本語が得意ではないお子様の入園も増えているので、異文化交流の観点からも英語でのレクリエーション等があるとより良い

と思う。ハロウィーンなどの外国由来の行事なども取り入れて頂きたい。

(3) 母の会活動のあり方を保護者と共に模索する。

- ・効率化を図った母の会の運営方法を継続しながら、更に母の会役員の中で話し合いを進め、幼稚園と相談し、了解を得たりしながら、より良い方法へと進めながら、問題点にも気づき、来年度に引き継ぐことが出来た。
- ・誰もが負担なく参加できる活動へ大幅シフトできたと思う。しかしながら、役員は大変というイメージが先行し、参加に消極的な保護者が多いことが課題である。

(4) 満3歳組入園時期の検討も含め、預かり保育の充実等様々な方面から、子育て支援の充実を図る。

- ・無償化の対象となる満3歳組（4年保育）はこれからも入園希望が増えてくると思うので、入園時期を検討して頂けることは保護者にとっても喜ばしい事だと思う。
- ・令和8年度に向け、預かり保育定額制や特定日預かり（入園式前のお子様の預かり・在園児の入園式日の預かり等）預かり保育が利用しやすく、共働き家庭であっても、保育園だけでなく幼稚園に通うという選択肢が増えた事は大変良かった。
- ・預り時間の延長、預り実施日増加に伴い、保育内容も工夫され、預かりを利用する回数の多い子どもも十分に楽しむ事が出来た。特に預かり保育での季節の制作活動はクオリティも高く好評であった。

(5) その他

- ・お迎えの際や個人懇談の際、先生から保護者へ園生活の様子など共有してもらえるため、安心できるし、信頼して預ける事が出来る。
- ・先生の入替わりが殆ど無いので、ベテラン・中堅の先生が多く、どの先生にも安心して預けられるのが良い。
- ・行事などもバランス良く組まれており、親子で子どもの成長を感じながら、楽しめる。もし可能なら子ども達が季節を感じられる草花や木、生き物など自然に関する活動等にも取り組んで頂けると尚良い。
- ・可能な限り地域の方や幼稚園に興味のある方が参加出来るようなイベントを増やし、多数の親子に参加して頂き、幼稚園を知る機会になれば良いと思う。
- ・満3歳組が増えたこともあり、よりセキュリティ強化が求められると思うので、出入り口のセキュリティ強化や園児引き取りの手順、バスアプリの導入など新たな取り組みがあると保護者の安心度が増し更に良くなると思う。
- ・提携駐車場の割引システムなどがあると、遠方からの入園希望者や課外教室利用者ももっと増えると思う。
- ・幼稚園の欠席連絡等、アプリやLINE等のツールを使用することが出来れば、朝の忙しい時間帯や幼稚園の電話が繋がりにくいといった事象も減り、親や職員の負担軽減に繋がるのではないかと思う。
- ・今後の課題として、お手紙や日々の活動の様子配信にホームページやインスタグラム等を活用したり、園との連絡手段に連絡アプリを導入したりデジタル化を進めていただきたい。